

平成27年度 事業実施報告書

一般社団法人北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	インターカレッジ・コンペティション〈学生による地域活性化企画コンペ〉	事業経緯	継 続	実施体制	後 援	担当所属	富山支所
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域活性化・振興支援事業		事業区分	表彰、コンクール	

1. 事業目的

富山県立山町の産業振興や地域活性化、地域ブランド構築などの分野で、全国の大学生による地域おこし事業のアイデアを競う。町内でのヒアリングやフィールドワーク活動期間を組み込み、学生に対し資質向上に適う実学の間を提供する一方、斬新な発想と理論に裏付けされたアイデアを町の活性化につなげることを目的とする。

2. 事業実施体制

主 催：立山町
共 催：立山町観光協会、立山黒部アルペンルート広域観光圏協議会
後 援：共同通信社、(一社)北陸地域づくり協会
協 力：近畿日本ツーリスト(株)

3. 事業実施概要

1. 実施スケジュール

4～5月：プレスリリース、参加大学の募集・決定
6～7月：大学にて町の現状及び課題について説明
8～9月：立山町にてフィールドワーク活動(町担当課及び町内事業所ヒアリング)
11月：レポート提出
11月28、29日：プレゼンテーション

2. 募集要項

参加資格：所属大学に引率教員を有する大学生、大学院生
及び国立高等専門学校専門課程の学生
参加条件：ゼミ単位での申し込む(同一ゼミで複数の応募については要相談)

3. 参加校

11大学16チーム
近畿大学、富山大学、明治大学、石川県立大学、帝塚山大学、千葉工業大学、
獨協大学、金沢大学、桜美林大学、昭和女子大学、跡見学園女子大学

4. 審 査

・フィールドワーク終了後11月中旬までにレポート提出(A4判10枚程度)
・レポート、当日のプレゼンテーション(来場者の投票も反映)の合計点で順位決定
・審査員：立山町長、観光庁、農林水産省ほか計7名

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

平成24年度からスタートして今回で4回目。学生がフィールドワークで町内各所へ外向き、地域住民と交流することによって、学生においては地域の抱える問題点を学ぶことができ、町民においては若い世代が見た感じた町の実状を知る良い機会となっている。

研究成果には地域経済、福祉、観光、公共交通等さまざまな観点からの新しい発想による提案が多く、今後の町の活性化を推進する手段として大いに参考となる有意義な取り組みとなった。

最優秀提案者となった跡見学園女子大学・村上ゼミの提案の一部について、次年度に実証実験を行うこととしており、このことが官学連携した実現性のある地域貢献として、新しい事業展開の可能性に期待がもてる。



フィールドワーク

最優秀チーム
(跡見学園女子大学)



プレゼンテーション

